



# 2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年10月30日  
株式会社デンソー

**DENSO**

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.  
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

1. 売上は、海外での生産増加や拡販、円安の影響により、増収  
営業利益は、その他収支を除くと、為替差益と合理化努力により、増益

2. 通期営業利益予想は、主に中国やアセアン市場の動向を踏まえ、  
公表比で下方修正するものの、前年比で増益

## 2016年3月期 第2四半期 実績

2 / 35

	〔〕内は売上収益比		【単位:億円】	
	15/9期実績	14/9期実績	増減額	増減率
売上収益	22,285	20,701	+ 1,583	+ 7.6%
営業利益〔 <small>除く その他収支</small> 〕	(7.5%) 1,672	(7.8%) 1,605	67	+ 4.2%
その他収支	△192	△107	△ 85	
営業利益	(6.6%) 1,480	(7.2%) 1,498	△ 18	△ 1.2%
金融収支等(※1)	188	186	+ 2	
税引前利益	(7.5%) 1,668	(8.1%) 1,684	△ 16	△ 0.9%
当期利益(※2)	(5.1%) 1,130	(5.4%) 1,120	+ 10	+ 0.9%
為替レート	122円/ドル 135円/1-0	103円/ドル 139円/ユーロ	19円 円安 4円 円高	
国内車両生産	432万台	459万台	△ 27万台	△ 5.9%
海外日系車生産 (内、北米)	927万台 (313万台)	913万台 (299万台)	+ 14万台 (+ 14万台)	+ 1.5% (+ 4.7%)

(※1) 金融収益、金融費用、為替差損益、持分法による投資利益

(※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

**DENSO**

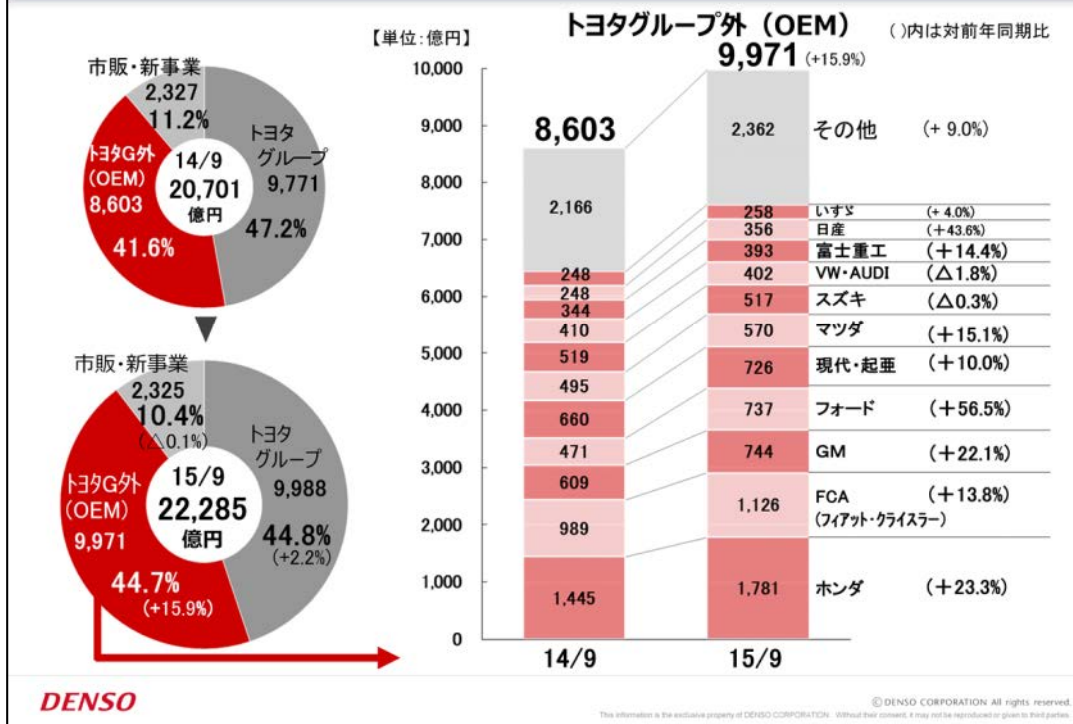
© DENSO CORPORATION. All rights reserved.  
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

### <連結決算概要>

- ・売上収益は2兆2,285億円。前年比 + 1,583億円、7.6%の増収となりました。
- ・営業利益は、その他収支を除くと、1,672億円と、前年比 + 67億円、4.2%の増益となりました。
- ・当期利益は、1,130億円。前年比+10億円、0.9%の増益となりました。

## 2016年3月期 第2四半期 売上収益(得意先別)

3 / 35



### <得意先売上>

#### トヨタグループ向け

トヨタグループは、軽自動車を中心とする国内車両生産は減少しましたが、北米での好調な生産に支えられ、全体として増加しました。

#### トヨタグループ以外日系カーメーカー向け

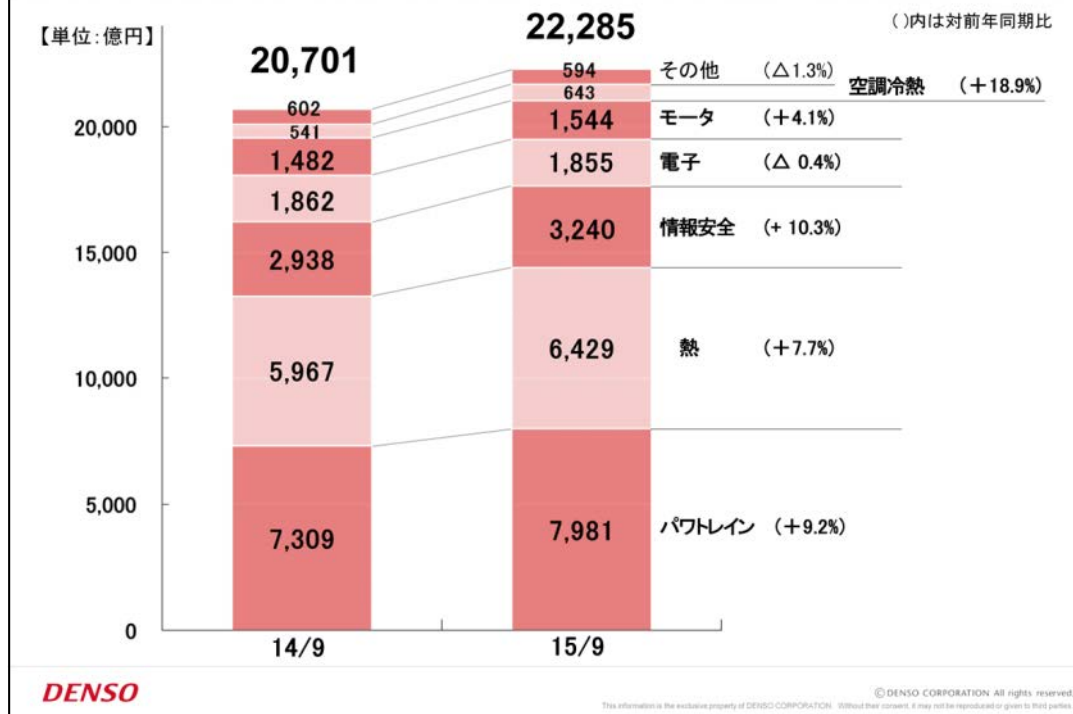
- ・ホンダは、主に北米や中国での車両生産の増加や直噴製品の拡販により、
  - ・マツダは、SKYACTIV用ディーゼルのコモンレールシステムを含む車両生産の増加や拡販により、
- それぞれ売上は増加しました。

#### 海外カーメーカー向け

- ・フィアット・クライスラーは、欧州での車両生産の増加により、
  - ・GMは、欧州や中国での拡販により、
  - ・フォードは、北米・欧州・中国での拡販により、
- それぞれ売上が増加しました。

## 2016年3月期 第2四半期 売上収益(製品別)

4 / 35



### <製品別売上>

#### パワートレイン

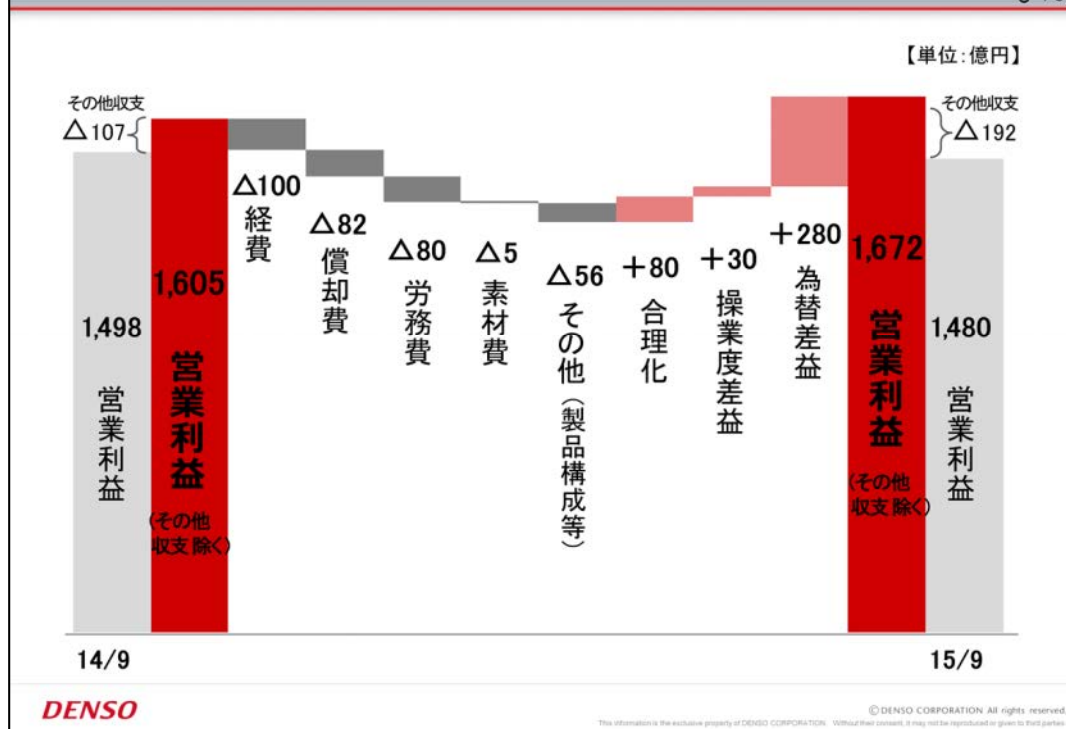
北米、欧州地域での車両生産増加やガソリン直噴製品などの拡販により、売上が増加しました。

#### 熱

欧州での車両生産増加により売上が増加しました。

#### 情報安全

北米でのメータや日本での安全製品の拡販により、売上が増加しました。



### <営業利益の増減要因>

主な点は以下の通りです。

#### マイナス要因

- ①経費増 ▲100億円は、研究開発費等の将来の成長に向けた費用によるものです。
- ②償却費増 ▲82億円は、アジアを中心とする海外での能力増強投資によるものです。
- ③労務費増 ▲80億円は、新興国での賃金増加によるものです。

#### プラス要因

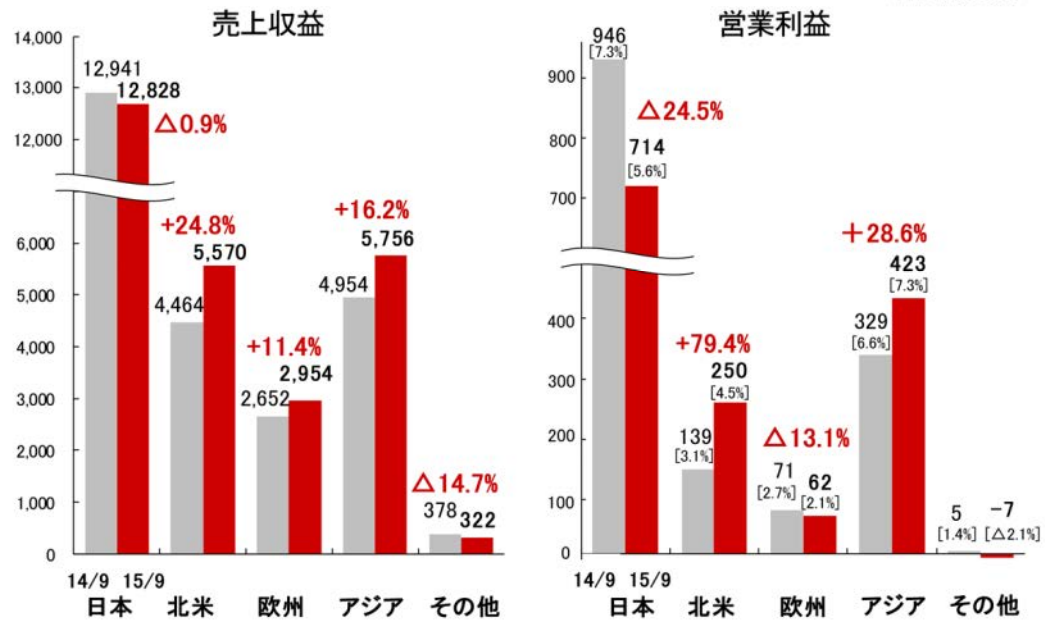
- ①合理化努力 +80億円は、コストダウンや生産性向上によるものです。
- ②操業度差益 +30億円は、北米・欧州を中心とする生産の増加や拡販によるものです。
- ③為替差益 +280億円は、主にドルで19円の円安によるものです。

以上により、“その他収支を除く営業利益”は1,672億円となりました。

# 2016年3月期 第2四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

## 円貨ベース

【単位：億円】  
[ ]は営業利益率



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

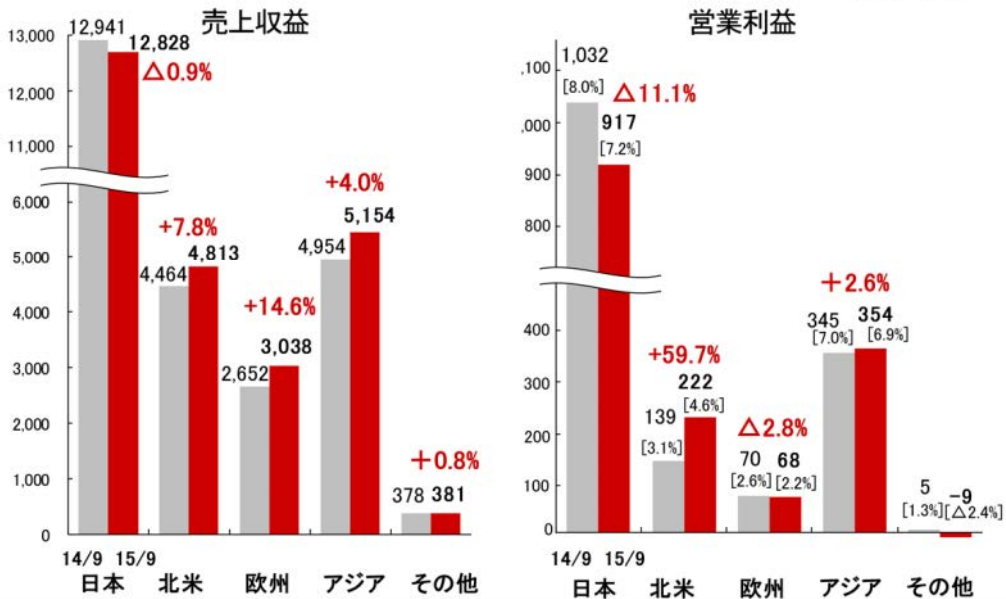
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<地域別の売上・営業利益(円貨ベース)>

次ページにて、現地通貨ベースで説明

為替の影響を除いた現地通貨ベース(その他収支を除く)

【単位:億円】  
[ ]は営業利益率



DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<地域別の売上・営業利益(現地通貨ベース・その他収支を除く)>

日本

- ・売上収益は、軽自動車を中心とする車両生産の減少により、前年比 ▲0.9% の減収となりました。
- ・利益については、生産減少による操業度差損や、研究開発費等の将来の成長に向けた費用により前年比 ▲11.1% の減益となりました。

日本以外

- ・北米・アジアでは、生産の増加や拡販により増収・増益となりました。
- ・欧州では、生産の増加や拡販があったものの、新製品生産立ち上げに伴う償却費や一時的なコスト増により増収・減益となりました。



## 2016年3月期 通期予想

8 / 35

	( )内は売上収益比			【単位:億円】	
	1Q時予想	16/3期最新	15/3期実績	増減額	増減率
売上収益	44,700	45,200	43,098	+ 2,102	+ 4.9%
営業利益 <small>(除く その他収支)</small>	(8.5%) 3,800	(8.2%) 3,700	(8.3%) 3,582	+ 118	+ 3.3%
営業利益	(8.5%) 3,800	(7.7%) 3,500	(7.7%) 3,314	+ 186	+ 5.6%
税引前利益	(9.3%) 4,140	(8.5%) 3,830	(8.6%) 3,719	+ 111	+ 3.0%
当期利益 (※)	(6.3%) 2,800	(5.8%) 2,600	(6.0%) 2,584	+ 16	+ 0.6%
為替レート	119円/ドル 130円/ユーロ	121円/ドル 133円/ユーロ	110円/ドル 139円/ユーロ	11円 円安 6円 円高	
国内車両生産	903万台	901万台	921万台	△20万台	△ 2.2%
海外日系車生産 (内、北米)	1,846万台 (627万台)	1,837万台 (627万台)	1,834万台 (600万台)	+ 3万台 (+27万台)	+ 0.2% (+ 4.4%)

(※)親会社の所有者に帰属する当期利益

**DENSO**

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.  
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

### <通期予想>

自動車市場の動向を踏まえ、修正いたします。

まず、前提として、通期の為替レートは、ドル121円、ユーロ133円と想定しております。

売上収益は、4兆5,200億円。

前年比では、2,102億円、4.9%の増収となります。

一方、営業利益は、中国やアセアンでの自動車市場の減速やその他収支により、前回公表に対し、

300億円減少の、3,500億円といたしますが、

前年比では、186億円、5.6%の増益となります。

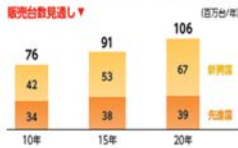
## デンソーグループ18年中期成長戦略

1. 18年中期方針
2. 注力する事業
  - (1) 環境、安心・安全
  - (2) 市販・新事業
  - (3) 海外市場

18年の目指す姿

【足元の環境認識】

①新興国が引続き市場を牽引



②環境と安心・安全のニーズ拡大



③部品・ユニットの標準化が加速



【実らせたい果実】

足元の経営課題および長期的な社会課題解決視点から注力する事業

【果実に栄養を送り込む幹】

注力事業の拡大をリード&サポートするために強化する機能

【樹木を支え育む土壌】

事業の拡大、機能強化を成し遂げるために兼ね備えたい企業体質

「環境、安心・安全」「市販新事業」「海外市場」に注力

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<18年中期方針>

当社は、2020年にありたい姿を見据え、今後3年間で取り組むべき施策を18年中期方針にまとめて、今年度より取り組みを開始しました。

この中期方針への取り組みでは、18年までに、「環境、安心・安全」、「市販・新事業」、「海外市場」の“3つの果実”を实らせます。

そのために強化する機能として、世界初、地域発の製品開発を進めると同時に、ダントツモノづくりをグローバルに展開し、競争力をさらに強化してまいります。

環境分野

CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた環境分野の技術開発の方向性



燃費を向上させ、「CO<sub>2</sub>排出量の削減」に貢献

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<環境分野>

デンソーでは、ガソリン、ディーゼルなどの内燃機関の、噴射、点火、そして排ガス処理までも一貫で研究し、効率向上に取り組んでいます。

また、小型・低コストで、高効率なシステムを開発し提供することで、電動化普及も促進してまいります。

各市場での規制強化を先取りし、ガソリン車、ディーゼル車、電気自動車、ハイブリッド車など全方位の品揃えで、燃費を向上させていきます。

さらに、当社の強みである幅広い事業領域を活かし、熱とパワートレインの連携を通じて、車両トータルでの実用燃費の向上にも取り組んでまいります。

地域ニーズに合った商品の提供

～ “内燃機関” + “電動化” の最適組み合わせ ～

デンソーのシステム製品	ガソリン直噴システム ポンプ インジェクタ	ディーゼルコモンレールシステム レール ポンプ インジェクタ	アイドルストップシステム ISSスタータ Li電池バック	ISGシステム ISG ISG用Li電池バック	ハイブリッド車用製品 インバータ モータジェネレータ
日本	✓		✓		✓
北米	✓			✓	✓
欧州	✓	✓		✓	✓
中国	✓		✓	✓	✓
新興国		✓	✓		

ニーズに合致した「内燃機関と電動化」技術の最適組み合わせを提供

**DENSO**

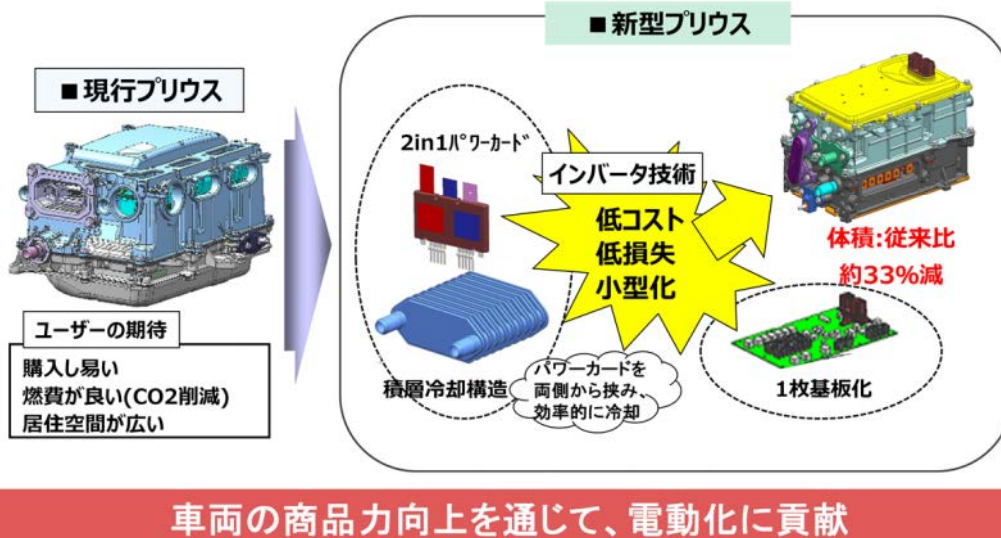
© DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

そして、全方位で開発した製品については、  
地域・お客様ごとに異なるニーズに併せて、  
内燃機関と電動化の技術を最適に組み合わせることで、  
市場へ提供していきます。

パワトレイン分野でフルライナップ戦略がとれる  
“デンソー”だからこそ、  
地域の規制対応のみならず、  
ドライバーの嗜好や癖、道路環境など、  
地域によって異なる交通事情を理解したうえで、  
システム対応することにより、  
真にお客様の期待にお応えできる製品を  
タイムリーに提案できると考えております。

## HEVの進化

～ トヨタ 新型プリウス向けパワーコントロールユニット(インバータ等) ～ (トヨタ自動車殿との共同開発)



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

電動化普及促進の事例として、  
トヨタの新型プリウス向けパワーコントロールユニットを紹介します。

街乗りが多い日本では、発進・停止の繰り返しが多く、  
燃費向上のために、ハイブリッド車のニーズが高くなります。  
そのような中、  
ユーザーの期待に沿うような「低燃費」で、  
かつ「低コストで広い空間」を実現するため、  
ハイブリッド車の主要製品である、  
インバータの技術革新に取り組みました。

基板の集約化や、冷却技術の向上などに取り組み、  
従来比33%の大幅な小型化により、  
車内空間の創出に貢献しています。

このようにお客様に求められる製品の開発により、  
ハイブリッド車の普及に貢献していきます。



安全運転支援（予防安全・運転支援）

～ トヨタ 新予防安全パッケージ「Toyota Safety Sense P」への搭載技術 ～

予防安全システム



特徴：  
高分解能な信号処理  
技術

ミリ波レーダ



特徴：  
高い識別性能を実現する  
認識アルゴリズム

画像センサ

提供機能



衝突回避支援ブレーキ



歩行者  
衝突回避支援ブレーキ



全車速  
アダプティブクルーズコントロール



オートハイビーム



車線逸脱防止支援

2つのセンサ組合せにより、車両・歩行者の検知を高い信頼性で実現→量産化

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.  
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

世界各国の安全規制強化のなか、  
盛り上がりを見せる“予防安全”市場ですが、  
デンソー新開発の“ミリ波レーダ”と“画像センサ”が、  
カーメーカーに標準搭載されることとなりました。

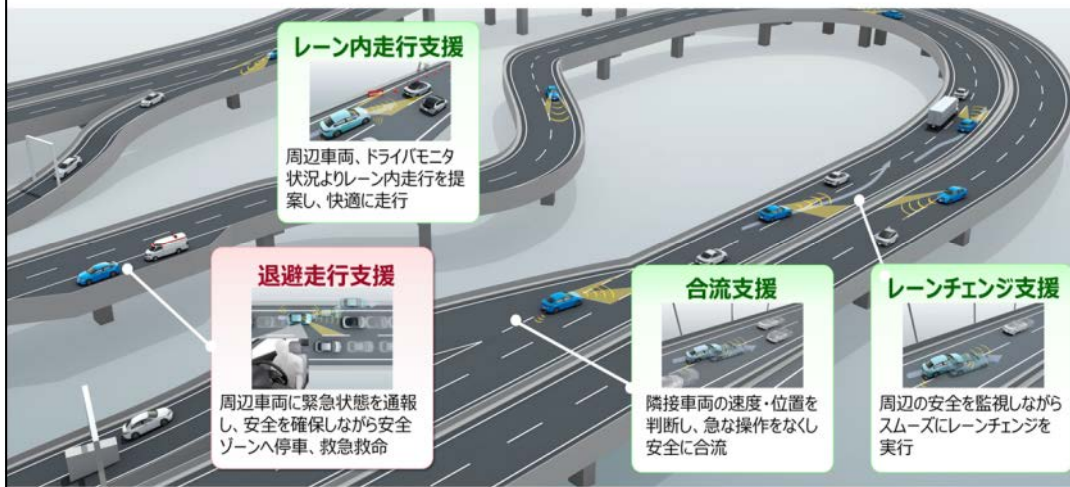
この製品の特徴は、高分解能な信号処理技術と高い識別性能です。  
2つのセンサ組み合わせにより、  
車両・歩行者の検知を高い信頼性で実現しています。

お客様への提供機能は、車両及び歩行者の衝突回避支援、  
全車速ACC、車線逸脱防止支援、オートハイビームです。

この製品は、トヨタ自動車のミディアム・上級車向けの  
新予防安全パッケージ「トヨタ セーフティ センスP」に採用されており、  
ランドクルーザー、プリウスを皮切りに、  
日本・北米・ヨーロッパで発売される車に搭載されます。



高度運転支援～自動運転



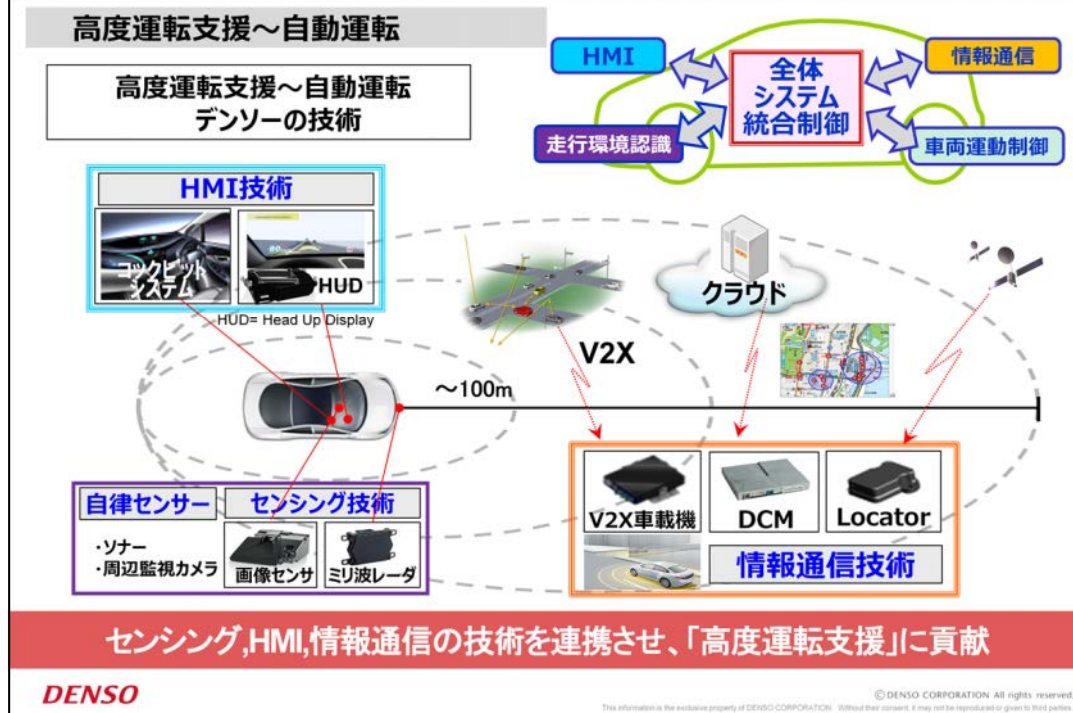
「高度運転支援～自動運転」実現に向けた開発を加速

**DENSO**

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.  
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

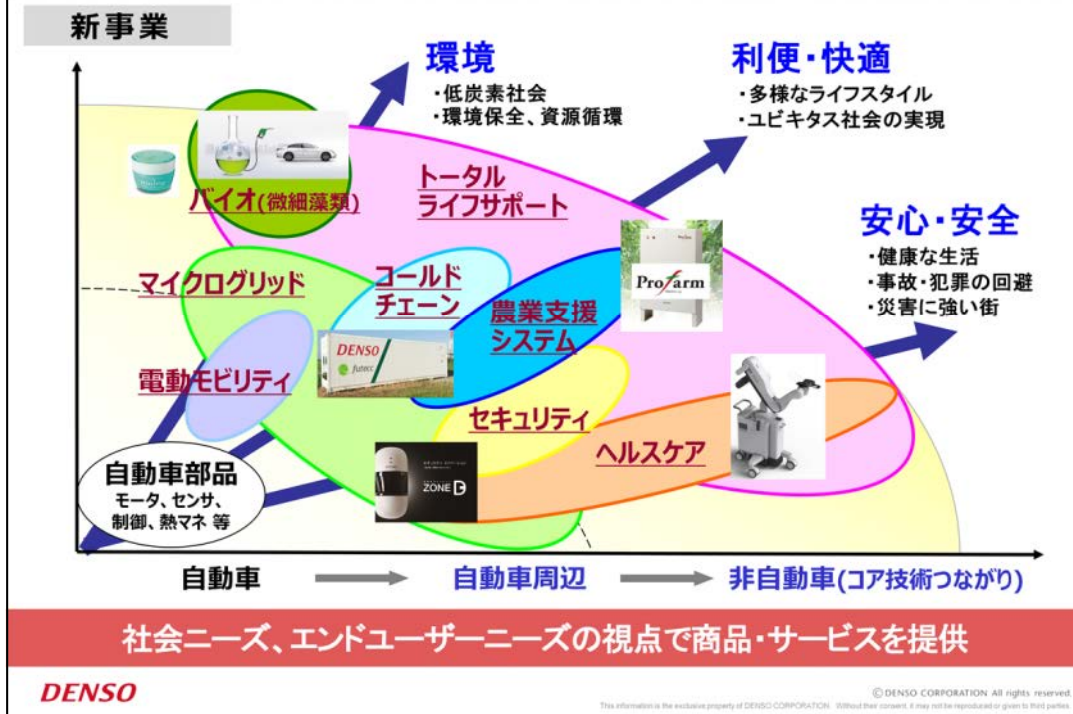
デンソーでは、自動車専用道路での自動運転実現に向けた製品開発を進めており、既に自動車専用道路等での実証実験を開始しています。

高度運転支援～自動運転の実現に向けて、開発を加速してまいります。



高度運転支援を実現する機能として、  
 車両周辺の危険を察知し、衝突回避・被害軽減を図る  
 センシング技術から、  
 ドライバからは見えない危険も把握し、  
 安全運転を支援する情報通信技術、  
 さらには、  
 集めた情報を適切に処理したうえで、  
 ドライバーに分かりやすく伝達するHMI技術があります。  
 このような幅広い品ぞろえが、デンソーの強みです。

車両全体の視点を持ち、これらの技術を効果的に連携させ、  
 システムとして提案していくことで、  
 環境変化の激しい中でも、ビジネスをさらに拡大していきます。



<市販・新事業>

特に新事業では、  
マイクログリッド、セキュリティ、農業支援システムなど  
6分野で事業を開始しました。

自動車部品で培った技術を応用して、  
広く社会の課題・ニーズを解決するために、  
ユーザー視点での“ソリューション事業”に取り組んでおり、  
小さく生んだ事業を着実に刈り取り、さらに事業を拡大させてまいります。

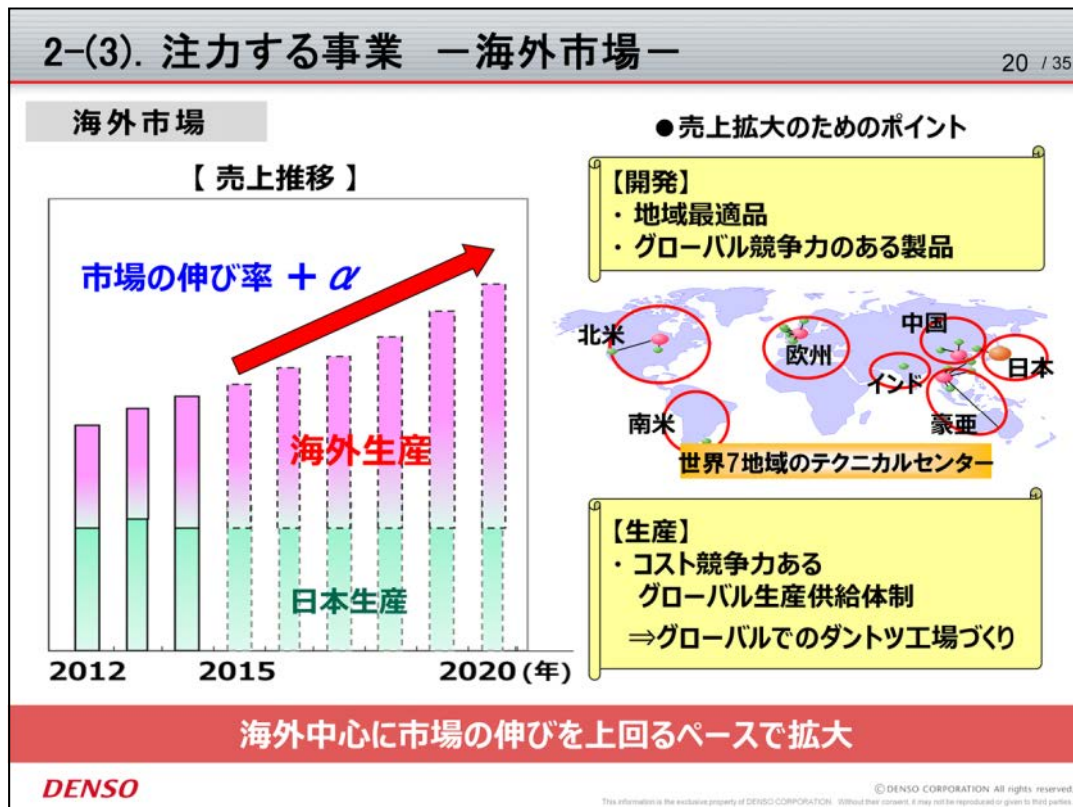


日本の農業は、農業従事者の高齢化や耕地面積減少に加えて、輸入品に対する競争力の強化が大きな課題となっています。

デンソーは自動車分野で培ったセンシングや制御技術や空調管理のノウハウを応用して、農産物の生産の効率化・安定化・付加価値向上に取り組んでいます。

さらには、鮮度を長く保つことができる冷凍機の開発や、物流の効率化により、同じ冷凍コンテナを使って、生産地から消費地まで、高い鮮度で農産物を運ぶことができるなどの、日本農業の競争力を高める、取り組みも行っています。

このように、サプライチェーンの上流から下流までの課題を解決し、日本の農業の活性化に向けて、製品開発や実証実験を進めていきます。



### < 海外市場 >

世界の車両販売が伸びるなか、  
デンソーとしても その市場の伸び率を上回る成長を目指します。

そのなかで重要な位置付けとなるのが“海外市場”で、  
その売上拡大に向けては、  
既に世界7極で整備されたテクニカルセンターと生産拠点が  
一体となって、取り組んでいきます。

開発においては、  
各地域の様々なニーズに応える“地域最適品の提供”と  
地域の知恵を集めた“グローバルに競争力のある製品”開発が、  
生産においては、  
“コスト競争力あるグローバル生産供給体制”が、  
鍵を握ると考えております。

グローバル生産供給体制



【生産供給体制構築の考え方】

- ・ 競争力ある新製品の投入
- ・ 最適生産の実現(ブリッジ生産含む)
- ・ 安定した品質

北中米 33社

アジア 71社

欧州 40社

南米 6社

●2015年9月末現在



グローバル生産供給の「構え」は完成、今後は「競争力」を向上

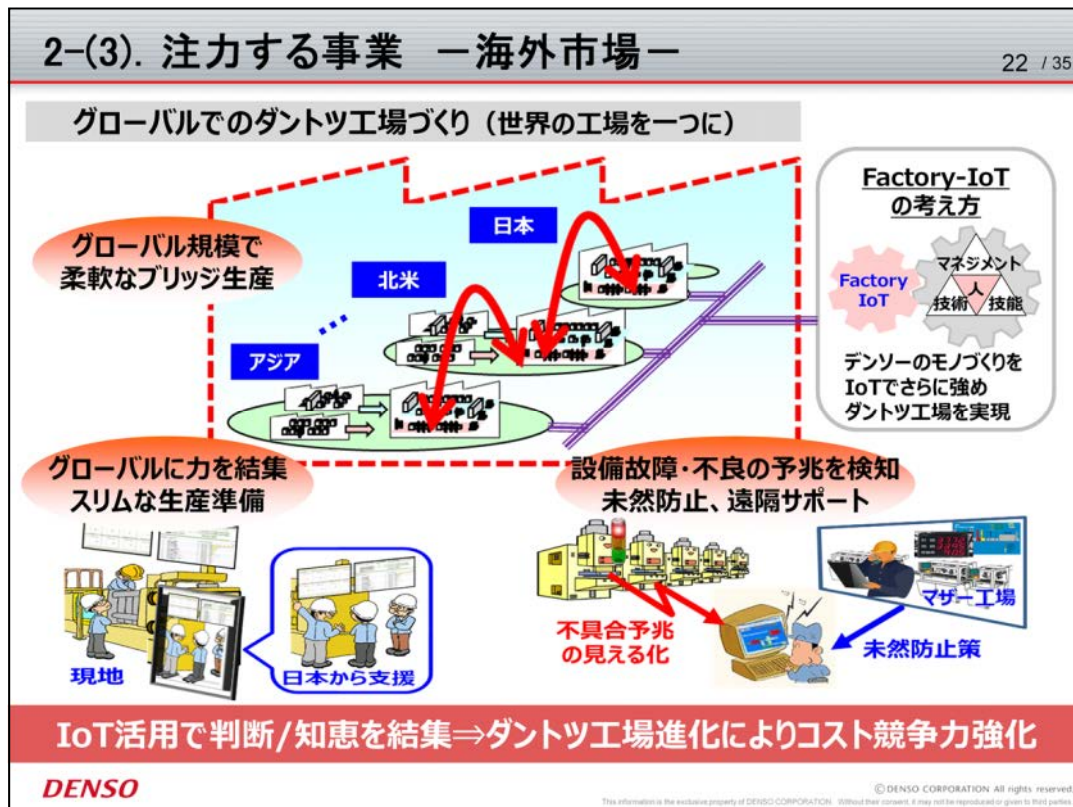
DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.  
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

競争力ある新製品の投入、  
ブリッジ生産などによる最適な生産の実現、  
安定した品質を確保するため、  
デンソーでは、グローバルに生産供給体制を拡充してまいりました。

その結果、直近では、メキシコやインドネシアなどを含む  
グローバル供給体制を整えることができました。

今後は、これらの生産拠点を有効に活用し、  
更に競争力を高める必要があります。



この競争力向上を実現する手段として、  
当社は、従来より、1/Nに代表されるダントツの競争力でモノづくりを行う“ダントツ工場づくり”に取り組んでまいりました。

今後は、この取り組みを更に進化させるために、  
最新の情報技術、つまり IoT が重要になると考えています。

デンソーでは、従来から、生産・品質・情報をネットワークでつなぎ、  
必要な製品を必要なだけ生産することで効率化を図ってきました。

今後は、さらに IoT を活用し、  
グローバルに社員の知恵、ノウハウ、改善事例を  
結集し、共有することで、  
グローバルレベルでのスリムな生産準備、柔軟なブリッジ生産、  
さらには設備不具合の未然防止などを可能とし、  
更なるコスト競争力の高い工場づくりに取り組んでまいります。



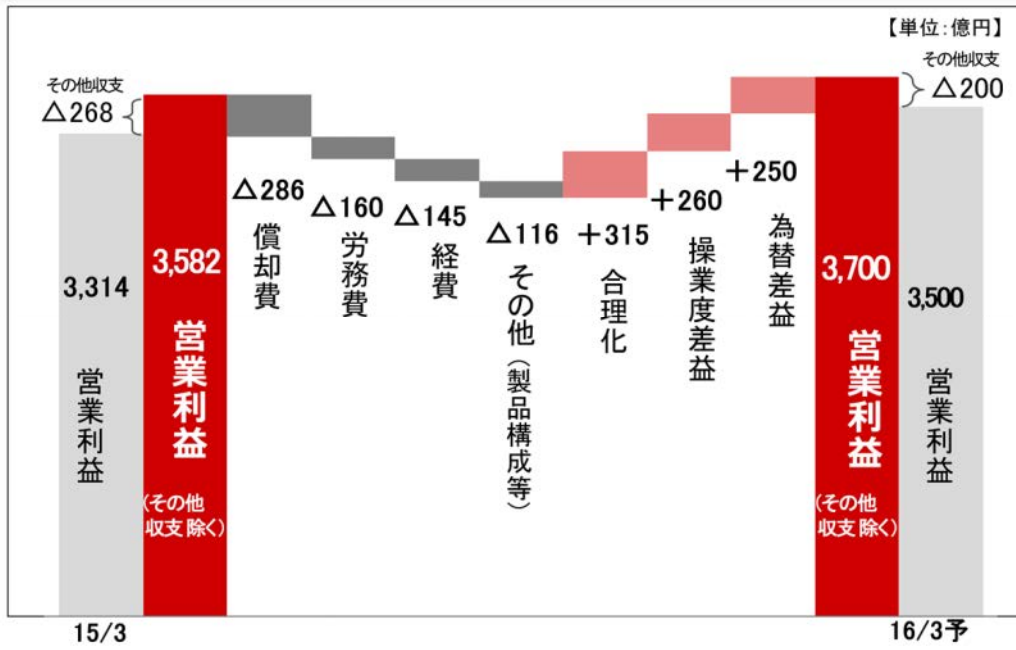
第43回技能五輪国際大会(ブラジル)

***DENSO***



- ・2016年3月期 通期予想  
営業利益増減要因(前年比)
- ・2016年3月期 通期予想  
所在地別セグメント情報(前年比)
- ・2016年3月期 第2四半期(3ヶ月)  
所在地別セグメント情報(前年比)
- ・単独決算概要
- ・前提となる為替レート／車両生産台数
- ・得意先別売上
- ・製品別売上
- ・設備投資・償却費・研究開発費の推移
- ・地域別 設備投資・償却費・研究開発費

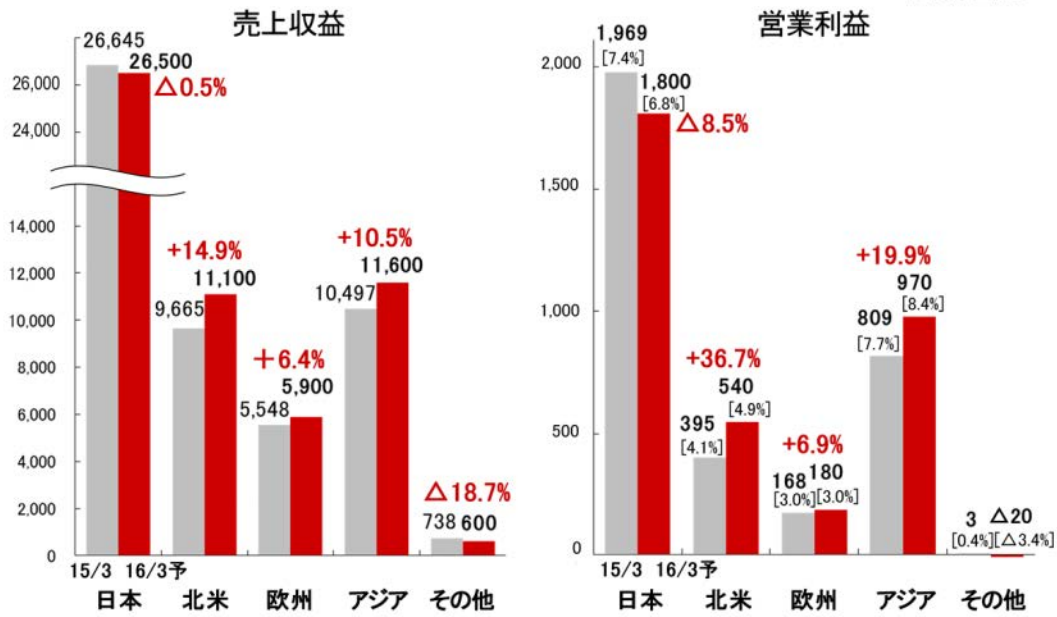
# 2016年3月期 通期予想 営業利益増減要因(前年比)



# 2016年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

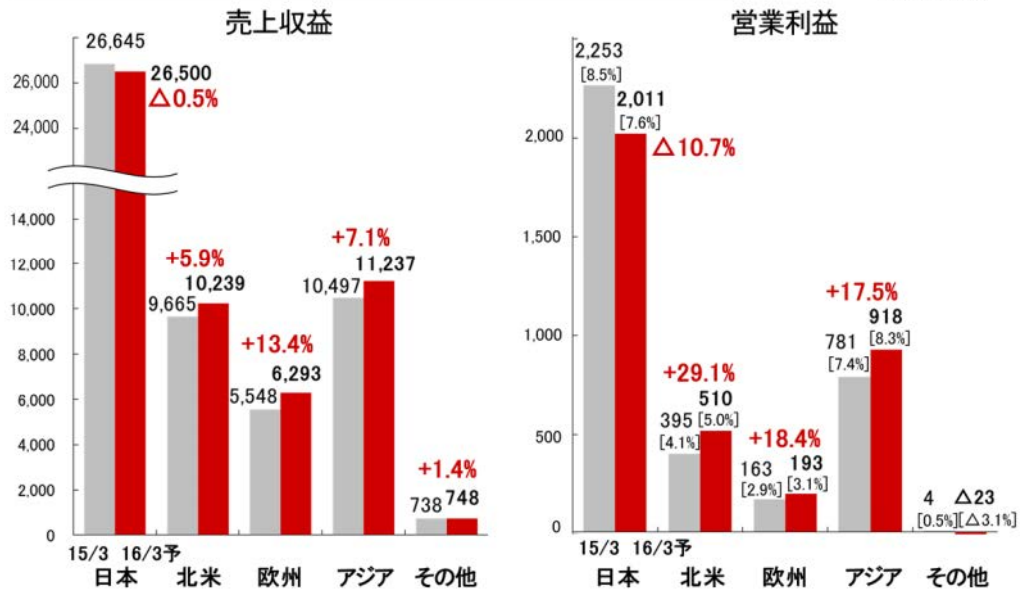
## 円貨ベース

【単位：億円】  
[ ]は売上高比



為替の影響を除いた現地通貨ベース (その他収支を除く)

【単位：億円】  
[ ]は売上高比



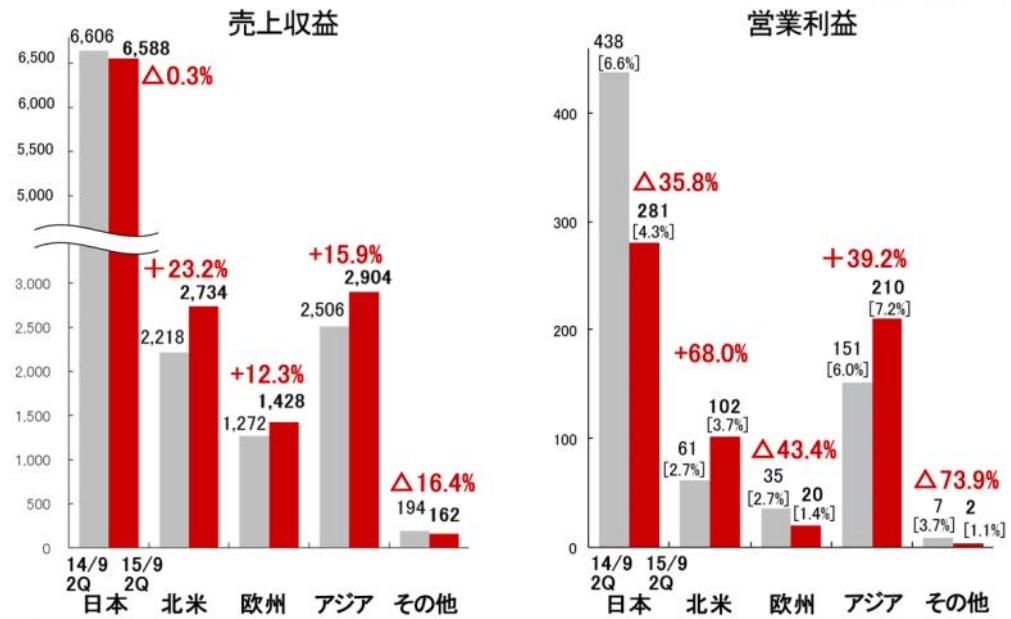
**DENSO**

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

円貨ベース

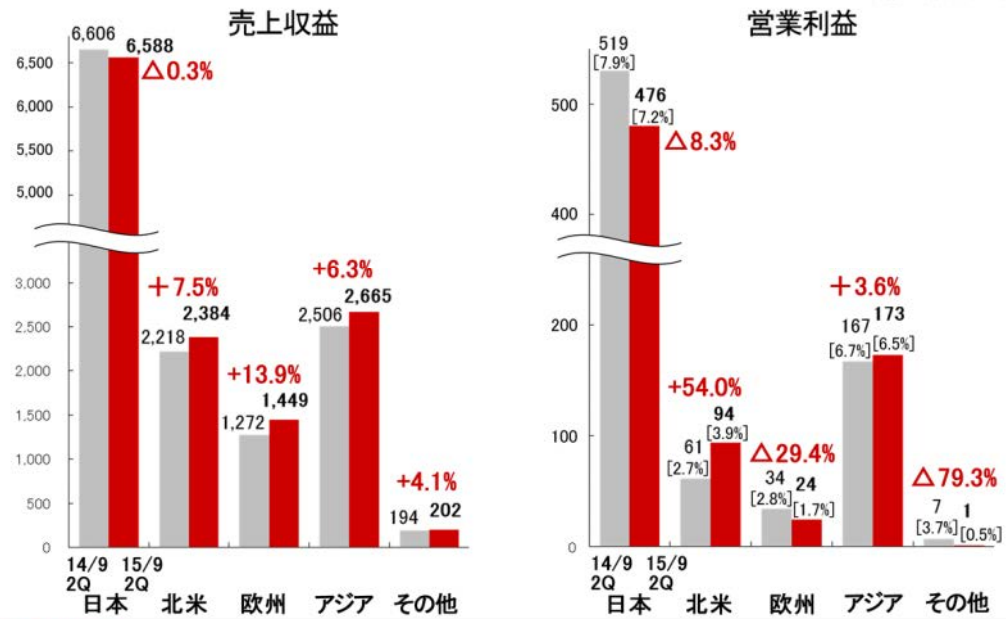
【単位:億円】  
[ ]は営業利益率



DENSO

為替の影響を除いた現地通貨ベース (その他収支を除く)

【単位: 億円】  
[ ]は営業利益率



DENSO

損益計算書(日本基準)

( )内は売上高比

【単位：億円、%】

科 目	15/9期実績	14/9期実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	( 100.0 ) 11,753	( 100.0 ) 11,845	△ 92	△0.8
営業利益	( 5.9 ) 689	( 6.7 ) 790	△ 101	△12.8
経常利益	( 10.4 ) 1,223	( 11.2 ) 1,321	△ 98	△7.5
税引前当期純利益	( 8.6 ) 1,010	( 10.4 ) 1,227	△ 217	△17.7
当期純利益	( 7.6 ) 891	( 8.6 ) 1,019	△ 128	△12.6

# 前提となる為替レート／車両生産台数

		上期					下期					16/3通期				
		前年実績	当初予想	10時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	10時 予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	10時予想	最新予想	前年比
		為替レート (円)	USD	103	115	122	122	18.8円 円安	117	115	115	120	3.2円 円安	110	115	119
	EUR	139	125	135	135	3.8円 円高	139	125	125	130	8.6円 円高	139	125	130	133	5.8円 円高
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											25	25	25	20	-5
	EUR											7	7	7	7	0
日系車両生産 台数 (万台)	国内	459	436	434	432	△ 6%	463	473	469	469	+1%	921	909	903	901	△ 2%
	北米	299	314	313	313	+5%	302	324	314	314	+4%	600	637	627	627	+5%
	海外日系車	913	922	935	927	+1%	921	982	910	910	△ 1%	1,834	1,904	1,846	1,837	+0%



# 得意先別売上

【単位：億円、%】

区分	15/9期実績		14/9期実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	9,301	41.7	8,985	43.4	317	3.5
ダイハツ	425	1.9	515	2.5	△ 90	△ 17.5
日野自動車	262	1.2	271	1.3	△ 9	△ 3.5
トヨタグループ計	9,988	44.8	9,771	47.2	217	2.2
本田技研	1,781	8.0	1,445	7.0	336	23.3
FC A	1,126	5.1	989	4.7	137	13.8
G M	744	3.3	609	2.9	135	22.1
フォード	737	3.3	471	2.3	266	56.5
現代・起亜	726	3.3	660	3.2	66	10.0
マツダ	570	2.6	495	2.4	75	15.1
スズキ	517	2.3	519	2.5	△ 2	△ 0.3
VW・AUDI	402	1.8	410	2.0	△ 8	△ 1.8
富士重工	393	1.8	344	1.6	49	14.4
日産自動車	356	1.6	248	1.2	108	43.6
いすゞ	258	1.2	248	1.2	10	4.0
B M W	231	1.0	202	1.0	28	14.0
三菱自動車	228	1.0	241	1.2	△ 13	△ 5.3
ベントツ	187	0.8	172	0.8	16	9.2
PS A	141	0.6	101	0.5	40	39.0
ボルボ	124	0.6	78	0.4	46	59.1
ジャガー・ランドローバー	95	0.4	95	0.5	△ 1	△ 0.7
その他メーカー	1,356	6.1	1,276	6.2	80	6.2
O E M 計	19,959	89.6	18,374	88.8	1,585	8.6
※ 市販・新事業他	2,325	10.4	2,327	11.2	△ 2	△ 0.1
合計	22,285	100.0	20,701	100.0	1,583	7.6

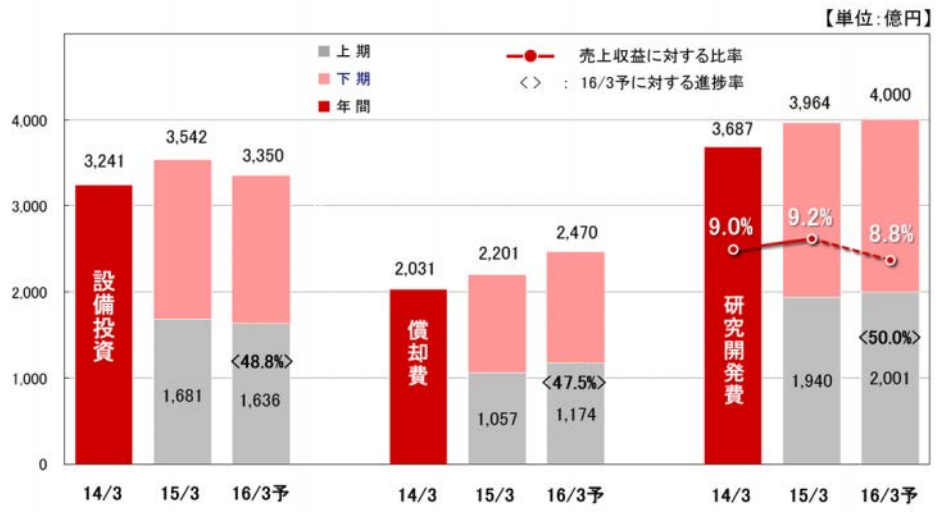
※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

【単位：億円、%】

区 分	15/9期 実績		14/9期 実績		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハブ・ワトレイン	7,981	35.8	7,309	35.3	671	9.2
熱	6,429	28.8	5,967	28.8	462	7.7
情報安全	3,240	14.6	2,938	14.2	302	10.3
電子	1,855	8.3	1,862	9.0	△7	△0.4
モータ	1,544	6.9	1,482	7.2	61	4.1
空調冷熱	643	2.9	541	2.6	102	18.9
その他※	279	1.3	279	1.3	0	0.1
自動車分野計	21,969	98.6	20,378	98.4	1,591	7.8
産業・生活関連機器	233	1.0	234	1.1	△1	△0.4
その他	83	0.4	90	0.4	△7	△7.4
新事業分野計	315	1.4	323	1.6	△8	△2.4
合計	22,285	100.0	20,701	100.0	1,583	7.6

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

# 設備投資・償却費・研究開発費の推移



# 地域別 設備投資/償却費、研究開発費

35

【単位：億円】

		15/3期		16/3期		15/9期	
		14/9期	実績	15/9期	予想	増減率	進捗率
設備投資	日本	888	1,890	930	1,830	4.7%	50.8%
	北米	204	485	233	450	14.2%	51.8%
	欧州	129	292	130	280	0.8%	46.4%
	アジア	443	831	333	760	△24.8%	43.8%
	その他	17	44	9	30	△47.1%	30.0%
	合計	1,681	3,542	1,636	3,350	△2.7%	48.8%
償却費	日本	657	1,333	664	1,428	1.1%	46.5%
	北米	104	234	139	290	33.7%	47.9%
	欧州	82	170	92	185	12.2%	49.7%
	アジア	196	428	262	530	33.7%	49.4%
	その他	18	36	17	37	△5.6%	45.9%
	合計	1,057	2,201	1,174	2,470	11.1%	47.5%
研究開発費 (売上収益比)		1,940 (9.4%)	3,964 (9.2%)	2,001 (9.0%)	4,000 (8.8%)	3.1%	50.0%

**DENSO**

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.  
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.